

2. 内容

(1) 梅を詠む

日 時：期間中毎日 9時～17時

場 所：藤棚横四阿
あずまや

内 容：お客様に「梅」を題材に俳句・和歌を短冊に
お書きいただきます。

参 加 費：無料（入園料別途）



梅を詠む（過年度の様子）

(2) 江戸大道芸

日 時：2月7日(土)・2月23日(月・祝)

各日 11時40分、13時、15時（各回30分程度）

場 所：売店前広場

内 容：大黒舞、放下芸等の大道芸を披露します。

出 演：浅草雑芸団
あさくさざつけいだん

観 覧 費：無料（入園料別途）

観覧方法：当日自由観覧



江戸大道芸（過年度の様子）

出演者プロフィール

浅草雑芸団（あさくさざつけいだん）

昭和60年（1985年）に、「大道芸で遊ぼう」という趣旨で始めた研究・実演団体。故・坂野比呂志の指導を受け、がまの油売り、飴売り、バナナの叩き売りなど坂野の芸を継承する一方で、のぞきからくりや、ろくろ首（見世物）の復元なども行う。平成13年（2001年）より、祝福芸はるこまを軸として、門付け芸や道行の芸能にも挑戦。年に一度、日本の大道芸探訪の舞台公演も行っている。

(3) すずめ踊り

日 時：2月8日(日)・2月22日(日)

各日 13時、15時（各回30分程度）

場 所：売店前広場

内 容：初代園主の佐原鞠塙出身の地、仙台発祥で、
墨田区ゆかりの浮世絵師、葛飾北斎が描いた
「北斎漫画」にも登場している「すずめ踊り」
を披露します。

出 演：福来雀
ふつくらすずめ

観 覧 費：無料（入園料別途）

観覧方法：当日自由観覧



すずめ踊り（昨年度の様子）

「すずめ踊り」とは？

慶長8年（1603年）、仙台藩祖・伊達政宗公の御前で大阪の堺からやってきた石工職人が、宴席にて即興で踊った踊りが始まりといわれている。踊る姿が餌をついばむ雀に似ていることなどから「すずめ踊り」と呼ばれている。

出演者プロフィール

福来雀（ふつくらすずめ）

仙台出身の仲間が中心となり、都内において「すずめ踊り」普及のため活動中。

(4) 茶会

日 時：2月 14 日(土)・2月 15 日(日)
各日 11 時～16 時(各回 30 分程度、全 10 回開催)
場 所：御成座敷
内 容：向島百花園茶会によるお点前の披露と
お抹茶の提供を行います。
定 員：各回 13 名(当日先着順)
参 加 費：1 席 1,500 円(入園料別途)
参加方法：10 時 30 分～15 時 30 分まで、
御成座敷前にて受付。(定員に達し次第受付終了)



茶会(過年度の様子)

(5) 野草ウォッチング ※雨天中止

日 時：2月 21 日(土)
11 時 40 分、14 時 40 分(各回 60 分程度)
内 容：講師の解説のもと、園内の野草を観察します。
講 師：若林 芳樹 氏(植物研究家)
定 員：各回 20 名(当日先着順)
参 加 費：無料(入園料別途)
参加方法：開始 10 分前より売店前広場にて受付。



野草ウォッチング(過年度の様子)

(6) 庭さんぽ～向島百花園の楽しみ方～ ※雨天中止

日 時：2月 15 日(日)10 時、13 時(45 分程度)
内 容：職員の案内で向島百花園ならではの草花や庭園
風景の楽しみ方をご紹介しながら、園内を散策して
回ります。
定 員：20 名(当日先着順)
参 加 費：無料(入園料別途)
参加方法：開始 10 分前よりサービスセンター横にて受付。



庭さんぽ(昨年度の様子)